

新型コロナウイルス感染症

国が専門家会議実施 町の予防対策は――

国の新型コロナウイルス感染症対策専門会議を受けて、町対策本部が3月23日に開かれました。町内での感染予防のため、引き続き対策を図っていきます。

国内の感染状況

世界中で猛威をふるう、新型コロナウイルス。国内では、1月16日に発生以降、陽性1,072人、うち死者41人が確認されています（3月22日現在）。福島県内では、157人を検査し、そのうち陰性155人、2人の感染が確認されました（1月26日から3月22日まで）。

日本国内の感染状況については、引き続き持ちこたえています。一部地域で感染拡大が見られています。諸外国の例を見ても、今後、地域において、感染源（リスク）が分からないまま患者数が増え

継続的に増加し、こうした地域が全国的に拡大すれば、どこかの地域を発端として、爆発的な感染拡大を伴う大規模流行につながりかねないと考えられます。

町の予防対策

町では、町内での感染を予防するため、2月25日に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置。町主催の催しを中止・延期するほか、町内での集会などの自粛を呼びかけています。また、国や県の方針に基づき、広報紙やホームページなどで、感染症予防に関する情報を発信しています。

今後の見通し

新型コロナウイルスは、感染から発病までの潜伏期間が1日から12日間ほどと言われています。すなわち、感染に気付かない人たちによるクラスター（患者集団）が発生し、オーバーシュート（爆発的感染者急増）が始まっていたとしても、事前にはその兆候を察知できません。気付いたときには、制御できなくなってしまうのが、この感染症の怖さです。

もしオーバーシュートが起きると、欧州でも見られるように、地域で医療体制が崩壊状態に陥ります。そうなると、この感染症だけでなく、通常であれば救済できる命を救済できなくなるという事態になりかねません。

そのため、最も感染拡大のリスクを高める環境（①換気の悪い密閉空間 ②人が密集している ③近距離での会話や発声が行われる、という3つの条件が同時に重なった場）での行動を十分に抑制することが重要です。一人一人が「3つの条件が同時に重なった場」を避け、できる限り人との接触を断つだけで、多くの人々の感染を

マスクが品薄状態に―― 簡単おすすめ「手作りマスク」

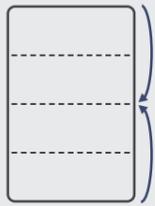
新型コロナウイルス感染症の影響で、マスクの品薄が続く中、ガーゼ2枚と輪ゴム2つでできる手作りマスクが人気を呼んでいます。

■用意するもの

- ・ガーゼ 2枚
- ・ゴムひも 2つ

■作り方

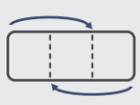
①点線のところで折り曲げながら、4分の1の大きさに畳む。



②両方から中央に向けて合わせる。



③顔の大きさに合わせて、結んだゴムを中に入れて折り畳む。



後、水拭きしましょう。

⑦汚れた寝具、衣服を洗濯しましょう

・体液で汚れた衣服や寝具を取り扱うときは、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し、完全に乾かしてください。

⑧ごみは密閉して捨てましょう

・鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。その後は直ちに石鹸で手を洗きましょう。

（厚生労働省ホームページより）

Information

新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、まず、帰国者・接触者相談センターにご相談ください。専門の「帰国者・接触者外来」を紹介しています。

相談・受診の目安



食いつめることができます。町は、今後も、新型コロナウイルス感染症の動向をよく注視しながら、予防対策に努めていきます。事態の進行や新たな科学的知見に基づき、その都度方針を更新し、回覧文書やホームページなどで、最新の対策をお知らせしていきます。

健康福祉課 健康増進係
☎ 582-1133

Point

家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合 家庭内で注意すること ～8つのポイント～

①部屋を分けましょう

- ・個室にしましょう。食事や寝るときも別室としてください。
- ・感染が疑われる人は、**極力部屋から出ないように**しましょう。

②感染者の世話は、できるだけ限られた人が行いましょう

- ・心臓・肺・腎臓に持病のある人、糖尿病の人、免疫の低下した人、妊婦の人などが感染者の世話をするのは避けてください。

③マスクをつけましょう

- ・せきが出るときは、マスクを着用しましょう。手元にマスクが無い場合は、ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。
- ・使用したマスクは他の部屋に持ち出さないでください。
- ・マスクの表面には触れないようにしてください。マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。

・マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗いましょう。

④こまめに手を洗いましょう

- ・外出先からの帰宅時や調理・食事前など、**こまめに石鹸で手を洗い、アルコール消毒をしましょう。**洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。

⑤換気をしましょう

- ・空気が乾燥すると、のどの防御機能が低下します。定期的に換気し、加湿器などで**適切な湿度(50%)を保ち**ましょう。換気とあわせて、こまめに水分をとり、のどを潤すことも大切です。

⑥手で触れる共有部分を消毒しましょう

- ・共有部分（ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など）は、薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた